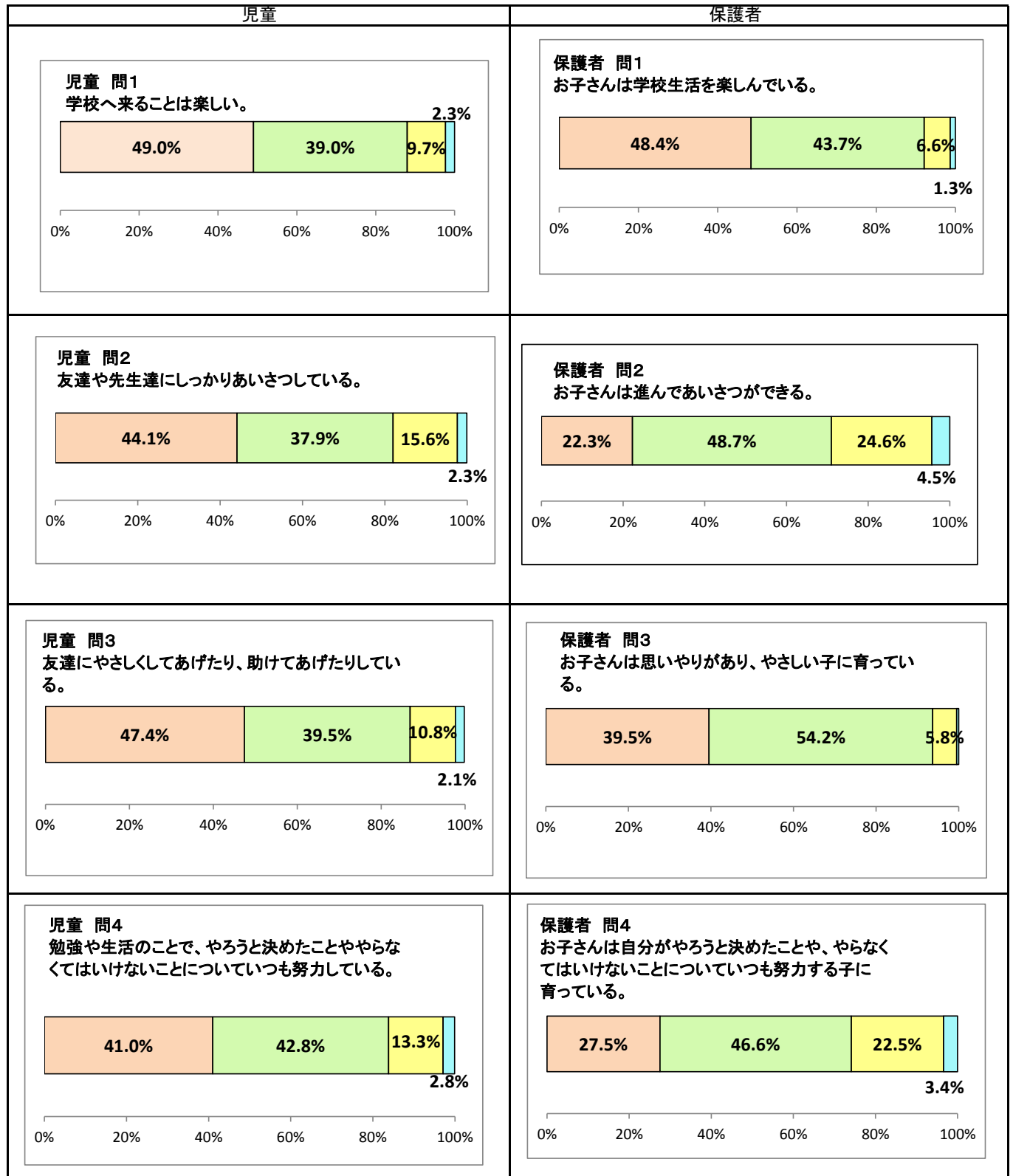


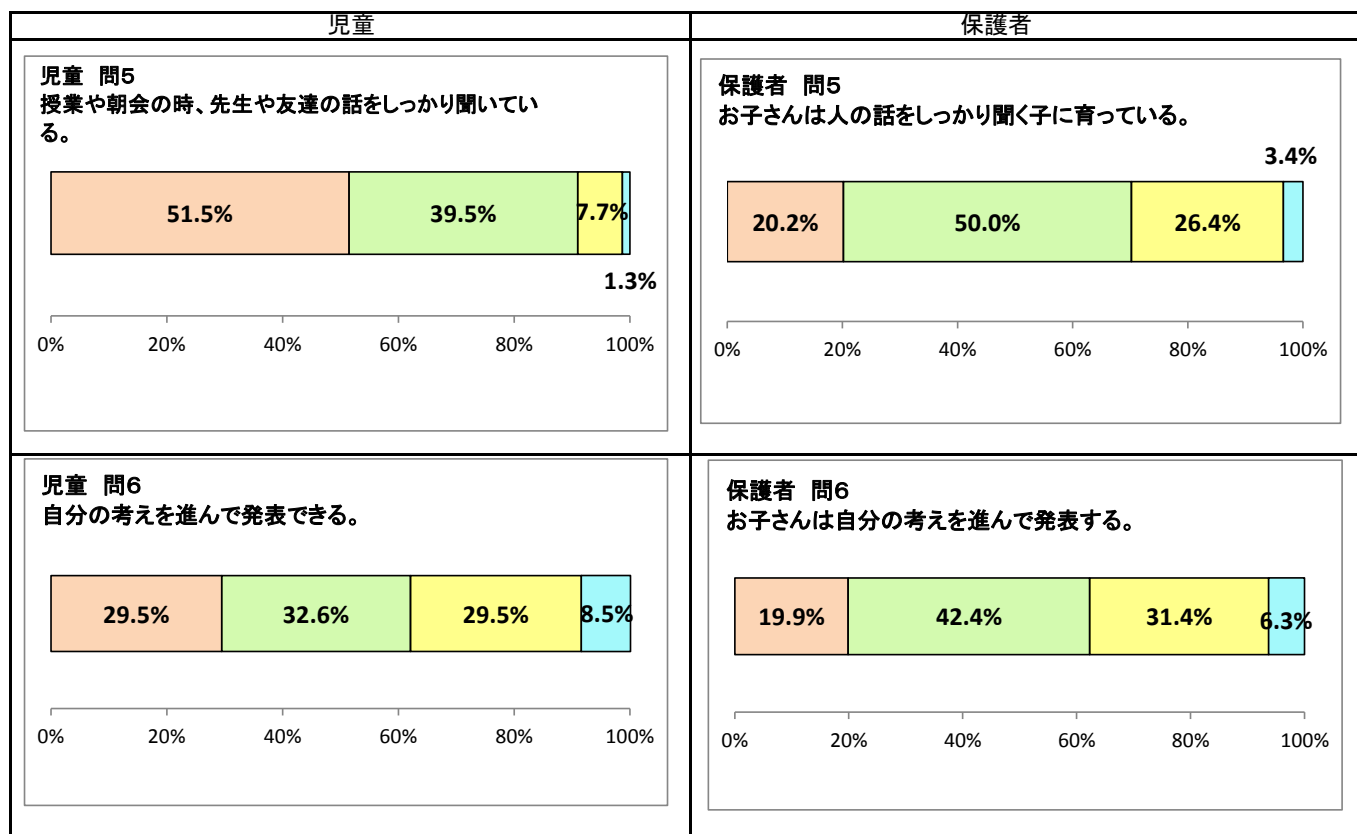
令和2年度 篠原小学校 学校生活アンケートの集計結果について

春日井市立篠原小学校

児童や保護者の皆様を対象に、1月末に実施した学校生活についてアンケートの集計をまとめましたので
主な項目についてお知らせします。アンケートへのご協力、ありがとうございました。

左から よく思う 思う あまり思わない 思わない ※合計が100%にならないのは、未回答があるため





○質問項目①「学校へ来ることは楽しいか」「楽しんでいるか」については、児童は88%、保護者においては、約92%が「よく思う」「思う」と答えており、昨年度と大きな変動はありません。ただし「よく思う」と答えた児童が49.0%（昨年度は55.2%）に減少していることに留意する必要があります。

○質問項目②「あいさつができているか」については、児童の82%は「よく思う」「思う」と答えていますが、保護者は70.7%で、児童よりも厳しく捉えられていることがわかります。保護者の数値は昨年度より7ポイントほど上昇しています。

○質問項目③「思いやり・やさしさ」については、保護者の約94%が「よく思う」「思う」とお答えいただいております、概ね「思いやりのある子」に育っていることがわかります。児童の評価は、昨年度より6ポイント上昇しましたが、保護者の捉え方よりも「思いやり」という点では自らを厳しく評価していることが分かります。本校の教育目標としている「なかよしの子」の育成に関わることであり、今後とも力を入れて取り組んでいきたいと思っております。

○質問項目④「勉強や生活で努力しているか」については、児童の84%が「よく思う」「思う」と答えており、昨年度とほぼ同じです。保護者の回答は、それより10ポイント下回る結果になりましたので、学習・生活両面において、コロナ禍に対応した取り組みを進めていく必要があると思われます。

○質問項目⑤「話をしっかり聞いているか」については、児童の91%弱が「よく思う」「思う」と答えており、落ち着いて取り組んでいることが分かります。一方、保護者の回答は、それより20ポイント下回っており、児童と保護者の間で、捉え方に大きな差異があることが明らかになっています。

質問項目⑥「自分の考えを進んで発表できる」については、昨年度に比べて「よく思う」「思う」が6ポイント下回っています。これは、コロナ禍により、話し合い活動や発表活動が大幅に制限され、児童が発表する場が失われてしまったことが大きな原因であると考えられます。新学習指導要領に示された「発表活動の充実」を、感染対策とともに進めていく必要があると思われます。

今回の集計結果を、来年度の指導に生かしていきたいと思っております。今後も保護者の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

